

法華寺だより



日蓮宗中興の祖
行学院日朝上人会



日朝上人は、室町時代の代表的な教学者で、身延山久遠寺中興の祖と

も称されています。幼少より大変利発で尚かつ大変な努力家でもあったそうです。八歳の時に剃髪得度をされた後は研鑽修行に励み、わずかに四十一歳にして身延山第十一世

□ 内証 □

「ないしよう」「自己の心の内に真理を証(さと)ること」あるいは「他人には説明できない内心の証り」のこと。自内証ともいう。

仏教語

この内証を秘めた言葉が「密語」。

仏が真実への導入として方便を使って示された言葉です。仏が真実を伝えようという事柄は

の法王に就任し法灯を継承しました。その後、三十七年間貫首として数多くの業績を残しました。久遠寺の伽藍を西谷から現在地に移転して整備、宗門の諸規則や年中行事の整備、師弟教育や教線の拡大等々。更に六十歳を過ぎて眼病にかかり失明の危機に陥るも信心の力で奇跡的に回復しました。このようなことから、「学問」や「眼病」等で願い事をかける人が絶えないでいる。

無妙法蓮華経

なかなか言葉で言いあらわせないが、方便を用いて何とか分からせようとする。そのようにして語られる言葉が本来の密語です。

秘密のことを一般に「ないしょ」と言うようになった。従って内証と書くのが本来なのであるが、いつのころか内緒とも書かれるようになった。

【仏教語散歩】

(さだまる新書)参照

いざ挑戦 日蓮検定

「汝、早く信仰の寸心を改めて速やかに実乗の一善に帰せよ」と、為政者に対して正しい仏法への帰依を勧奨した日蓮の著書は、どれか？

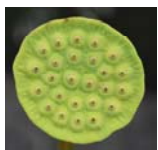
- 1…立正安国論
- 2…立正意抄
- 3…立正勸抄
- 4…安国論送状

改修工事進行

先の役員会で決定していた改修工事が先頃より始まりました。

- 檀信徒会館屋上防水改修工事…予定通り進行
- 本堂内陣の床下土台部分改修…想定以上に腐食等の範囲が広いが、お盆前に工事完了予定
- エレベーター機能維持工事…予定通り進行

これなーに



ハスの実

- 1…立正安国論 一二六〇年、前執権の北条時頼に奏進した

- 2…立正意抄 立正安国論で予言したことが生じていると信徒に伝える

- 3…立正勸抄 弟子の最蓮房に与えたもの
- 4…安国論送状 不明

ご案内

七月

- 二日 布薩会パークゴルフ
- 十三日 行学院日朝上人会

八月

- 七日 清掃内外(雨天翌日)
- 十八日 盂蘭盆会施餓鬼法要
- 先代住職三十七回忌法要
- 一九日 納骨堂清掃

心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩みや心配事の絶えないもの

……ご来所やお電話を……

TEL 一三三・四〇三三

今月の聖語

慈悲なき者を
邪見の者という

【慈悲と合掌】
慈悲は、人として持たなければならぬ大切な心。慈しみと哀れみの心。他者の幸せを祈る心です。慈悲の心を確かめ、他者の幸せをも祈る姿が合掌です

「頤謗法抄」より
日蓮聖人御遺文



覚書

六月

- 四日 旭川妙法寺入寺式 宗務院
- 八日 行学会寺庭清掃 宗務院
- 十三日 三大尊神大祭 日青ブロック集会
- 十六日 本別法華寺入寺式 帯刑教誨
- 二十一日
- 二十五日
- 二十九日



一 休み

●「日蓮宗信行読本」より（拾い読み）
第四章 日蓮宗の葬儀と追善供養

1 日蓮宗の葬儀と追善供養
② 葬儀は亡き人が来世へ出発する手助けの儀式。臨終から供養までの一連のことを「引導」といい、亡き人の手を引いて浄土へ導く意味です。③ 葬儀の最も大切な心構えは「霊の不滅を信じる」とです。この人生観なしには、死に行く人が心の安らぎを得ることは出来ません。「死は全ての終わりでない」「私たちの人生は過去・現在・未来の三世にわたる人格向上の道」という態度でお互い生きることが大切で、先を敬まい学ぶ気持ちも生じないはずで、祖先を敬まう。故人の霊はそこに居て私たちを見守っている」

「奉仕」感謝

☆様 仏花
☆様 弘花
☆布薩会と婦人会の様 寺庭等の環境整備誠にありがとうございます

法華和讃

（四十七）

ひ ひかりつき りやく みようほけきよう
日の光月の利益の妙法華経

もうこたいじ はた まんだら
蒙古退治の旗の曼荼羅

なむみようほうれんげきよう
南無妙法蓮華経

妙法和讃

三 私見

【日の光月の利益】
立正安国論で予言していた蒙古が一二七四年（文永十二）に來襲した。聖人も当然蒙古退散の祈願をされたでしょう。神力品にある「如日月光能除諸幽冥 斯人行世能滅衆生闇」



です。通夜の時に遺産相続の争いや、世間体だけを重んじた葬儀などは、故人はどれほど悲しむでしょう。しかし、遺族があまりにも嘆き悲しむことは、次の世界へ旅立とうとしている故人を困らせます。日蓮聖人は、「法華経を信じて亡くなった人は、自分が実に清々しい世界に居ることに気がつくでしょう」
このように葬儀では、私たちは故人の生前の行いに感謝し、故人の速やかな成仏を願うことが求められるのです。

編集後記

◆先日山梨へ行ってきました◆
甲府市の近くで、小さな寺の住職をしていただきます◆四百年ほどの寺歴だそう◆近くにその程度の寺歴をもつ小規模な寺が幾つもあり◆田んぼと新興住宅地であつて「寺町地区」ではありません◆でも、住職の居ない「無住」の寺もいくつかあるそうです◆歴史ある地区ですが、信仰と寺のあり方も問われているようです◆山崎記

参照・引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮検定」
- ※「日蓮宗新聞」
- ※「日蓮と日蓮宗」
- ※「仏教語散步」等々



□ 道楽 □

「どوراく」 怠け者やばくちに明け暮れる人などを「道楽者」等と呼んだり、本職以外の趣味にして楽しむ「道楽」もあります。概してあまり良い意味には使われません。

しかしこの言葉本来の意味は、仏道修行によって得られる悟りの境地に達した楽しみや法